

習志野市立第二中学校 国語科 第1学年 シラバス

【学習の目標等】

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【評価の観点及び内容、方法】

観点	内容	方法
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすること。 【語彙・漢字・文法】	・定期テスト ・漢字テスト ・成果物
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすること。 【話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと】	・定期テスト ・発表の様子 ・成果物
主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。 【学習習熟度・取り組みや発表の様子・成果物の様子】	・授業の様子 ・成果物 ・振り返りシート

【教科担任からのメッセージ】

(1) 国語科の学習について

国語科では、文章読解（読むこと）をはじめ、語彙、話すこと・聞くこと・書くこと書写など、幅広い領域の学習を行っていきます。さらに、それらの学習内容のほとんどは、今後の社会生活でも必要になる力です。日々の授業を大切にするとともに、失敗を恐れず、積極的な姿勢で学習に臨みましょう。

(2) 授業の持ち物

教科書・ノート・漢字ワーク・ワーク・ファイル ※必要に応じて辞書

(3) 授業の進め方・学習のポイント

継続的に漢字の学習を進めていきましょう。国語の授業では、自分で学習課題に取り組む時間が多くあります。課題へ取り組むことはもちろん、答えの確認や解き直しなども大切にしましょう。特に、文章の添削などはいつでも受け付けます。

(4) 家庭学習について

漢字を始めとした語彙学習は、継続して行うことを推奨します。授業は單元ごとに進めていきます。ワークを活用して計画的に復習を行えると、定期テストの対策にもつながります。「短期集中でコツコツと！」を合言葉に、家庭学習の習慣化を図りましょう。

【学習計画】（週時間数 4 時間）

	題材・学習内容	学習のねらい
1 学期	○ふしぎ ○聞くということ ○お気に入りの一品を紹介する ○桜蝶 ○言葉の単位 ○自分の脳を知っていますか ○資料をもとに紹介文を書く ○漢字の部首 ○日本語の音声 ○構成を考えて話す ○ベンチ ○全ては編集されている／写真で「事実」を表現する ○画数と活字の字体 ○材料を整理して案内文を書く	・詩の表現技法についての理解を深める。 ・言葉をとおして自分と相手を理解する。 ・伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 ・行動や心情を表す言葉を文脈に注意して読む。 ・文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。 ・意見と根拠などの関係について理解する。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 ・漢字の部首についての理解を深める。 ・日本語の音の特徴を理解する。 ・中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。 ・本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 ・文章や映像などに表されている情報と情報の関係を捉える。 ・画数と活字の字体についての理解を深める。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を集めて整理し、伝えたいことを明確にする。

2 学 期	○持続可能な未来を創るために ○森には魔法つかいがいる ○文の成分 ○根拠を明確にして意見文を書く ○広告の情報を考える ○物語の始まり ○故事成語 ○蜘蛛の糸 ○河童と蛙 ○オツベルと象 ○随筆を書く ○日本語の文字 ○子どもの権利 ○調べた内容を聞く ○漢字の音と訓	・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考える。 ・主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 ・根拠を明確にし、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 ・広告を作る要素を整理し、広告を見る観点を知る。 ・古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 ・漢文訓読の仕方を理解したり、音読したりして、漢文に慣れる。 ・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ・比喩や反復などの表現の技法を理解する。 ・場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。 ・身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。 ・日本語を書き表す文字の特徴を理解する。 ・専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ・得た情報を整理し、相手が伝える内容を予想しながら聞く。 ・漢字の音と訓についての理解を深める。
3 学 期	○言葉がつなぐ世界遺産 ○報告文を整える ○単語のいろいろ ○発言を結びつけて話し合う ○漫画で「物語」を表現する ○熟語の構成 ○四季の詩 ○少年の日の思い出 ○方言と共通語	・事実と意見など、情報と情報との関係について理解する。 ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。 ・自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。 ・互いの意見を結びつけて整理しながら話し合い、自分の感想や考えをまとめる。 ・漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。 ・熟語の構成の基本的な型を知る。 ・比喩や反復などの表現の技法を理解して使う。 ・行動や心情を表す言葉や語句の文脈上の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。 ・方言と共通語の特徴について知る。